

2016年5月12日

奥日光の活性化をめざして約20年ぶりの新造船

2017年夏 中禅寺湖に新型遊覧船を導入します

～船内電力の一部に、太陽光発電を利用します～

東武興業株式会社

東武鉄道（本社：東京都墨田区）のグループ会社である東武興業（本社：東京都墨田区）では、中禅寺湖遊覧船事業（所在地：栃木県日光市）において、「東武グループ中期経営計画 2014～2016」で掲げている「日光・鬼怒川地区等沿線観光地の活力創出」のための施策の一つとして、2017年度夏頃を目途に、新型の遊覧船を導入いたします。

中禅寺湖における遊覧船事業は大正14年から営業を開始し、平成13年に東武興業に営業譲渡され、平成17年度から現在の2艘体制で運航してきました。今般、新たに環境に配慮した新型船1艘を追加導入し、世界的観光地である日光地区の活力創出と観光客誘致に貢献いたしたく計画を進めて参ります。概要は以下のとおりです。

- 1 導入場所 栃木県日光市 中禅寺湖
- 2 新型船概要 「船名」未定 定員400人 座席数 客室312席 特別展望室
全長24m、幅員8.8m、主機関エンジン254kw×2基
(エンジンのNOx排出量は従来の50～60%に低減)
船内照明、客室コンセント、Wi-Fi電源等 電力の一部に太陽光発電を利用
- 3 就航時期 平成29年(2017年) 夏頃を予定
- 4 現在の船舶 ① けごん号(平成2年製造・定員500人 座席数 客室288席)
② アストリア号(平成9年製造・定員120人 座席数 客室40席)

5 イメージパース
(新型船)



(在来船)

